

2018 年 第 7 回 情 報 交 換 会

日時：2018 年 11 月 28 日（水）14:00～

日頃より東北公益文科大学に格別のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
以下の内容で発表させていただきますので、貴広報媒体による取材や事前広報について
特段の配慮を賜りますようお願い申し上げます。

【発表内容】

1. 国連 UNHCR 協会主催 学生アイデア・コンペ ベスト・クリエイティブ賞受賞
「難民支援カードゲームとゲームアプリの開発」のその後と今後の予定
2. 12 月 1 日 酒処「KITAMAE」Grand Opening! (4 年 山崎侑斗さん)
3. 《ゼミ研究・活動紹介》
阿部ゼミ『国民年金加入行動啓発プロジェクト』（阿部公一教授）
4. 競争型課題解決演習
『新規開業ホテルの事業開発コンペ』（倉持一准教授）中間発表会について
5. 「IT Day」創設キックオフイベント 『IT25・50』開催について
6. 《大学院》
 - (1) 公益教養プログラム FORUM21+東北公益文科大学大学院
スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程開設記念講演会
「スクールソーシャルワーク ー子どもの真のパートナーとしてー」
 - (2) 第 8 回「知の拠点庄内」シンポジウム
「歴史と自然に溢れる庄内 ～これからのまちづくりを語る～」
7. 《地域共創センター》
 - (1) 地域との連携事業について
 - (2) 酒田おもてなし隊 平成 30 年度「輝けやまがた若者大賞」受賞
 - (3) Forum21 のご案内
 - (4) その他
8. 《図書館》
 - (1) 『文学でめぐる元号展』開催
9. 「屋内練習場オープニングセレモニー」開催について
10. 東北公益文科大学公益学部と琉球大学国際地域創造学部との「包括連携協定」
締結式の開催について
11. 私立大学研究ブランディング事業シンポジウム
「過去・現在・未来を IT 技術で繋ぐデジタルアーカイブ」開催について

※次回の情報交換会は 2018 年 12 月 26 日(水)の予定です。

リリース情報に関するお問い合わせ
東北公益文科大学（広報担当）
TEL) 0234-41-1111 FAX) 0234-41-1133
E-mail) koho@koeki-u.ac.jp

2018年11月28日

東北公益文科大学

国連 UNHCR 協会主催 学生アイデア・コンペ ベスト・クリエイティブ賞受賞「難民支援カードゲームと ゲームアプリの開発」その後と今後の予定

6月にご報告させていただいた、国連 UNHCR 協会主催学生アイデア・コンペで、本学の3年 佐藤 巴瑠貴君がベスト・クリエイティブ賞を受賞したことにより始まったプロジェクト「難民支援カードゲームとゲームアプリの開発」について、その後の活動と現状について報告させていただきます。12月にはゲームのテストを UNHCR 協会に訪問し行い、ゲーム内容確認と内容の充実を図る予定です。

現在、プロジェクトメンバーは12月のゲームのテストに向けて、週一回集まりゲーム内で使用する言葉の確認や修正、また難民についての知識・理解を深める活動をしています。

★ ポイント

- ① 日本において認知度の低い難民問題を理解し、支援を拡げるためのゲーム
- ② ゲームという形態をとることで、より理解度を高めることが狙い
- ③ プロジェクトは、他大学の学生や様々なキャリアの社会人も参画

公益大プロジェクトメンバー 4名

代表 森谷 樹平 (2年)

池田 泰基 (2年)

今井 祐揮 (2年)

湯本 巴瑠季 (2年)

※ 詳細は、別紙説明資料参照

お問い合わせ

経営コース 特任教授 平尾 清

メール：hirao@koeki-u.ac.jp

携 帯：050-7303-0338

難民認知度向上ゲーム（仮）について

国連 UNHCR 協会主催で行われた「学生アイデア・コンペ」において本学在学中の 3 年佐藤巴瑠貴がベストクリエイティブ賞を受賞したことで始まった活動で、現在はその受賞したアイデアを実現させるために活動している。

受賞アイデア

世界には数多くの難民がいて、その数も年々増え続けている。しかし、日本ではあまり支援が行われておらず難民問題に対しての認知度も低いのが現状。そこで難民の事をより多くの人に知ってもらうためにゲームという形を提案する。ゲームというわかりやすい形で難民問題を伝え、そこから関心を持ってもらいたい。難民問題に関心がない人にアピールしやすいという点と独自性、発信力を評価された。

<https://www.japanforunhcr.org/archives/12688>

ゲーム内容

2～5 人プレイ。「市民戦争が勃発」「激しい人種差別」「宗教的迫害」「環境変化による貧困」などの理由から難民が発生している国が 4 つあります。各プレイヤーはその周辺国の難民受け入れ担当者になり自国の難民受け入れ態勢を整えて難民を受け入れていきます。受け入れた難民は自国に定住させたり、ほかのプレイヤーと協力して難民発生国から難民の発生理由を取り除いた後に帰還させることができます。難民を定住させると 1 ポイント、元来た国へ帰還させると 2 ポイントの社会貢献ポイントがもらえ、10 年（10 ターン）経過した際に一番ポイントの多いプレイヤーが勝者となります。

現在の活動

現在は毎週一回メンバーで集まり、ゲームの調整やゲーム内で出てくる言葉の修正などを行うとともに、様々な難民関係のイベントに参加して難民についての知識を深めています。UNHCR 協会のお名前を使わせていただく関係から内容の修正が必要となり、ゲームのテーマの変更、カードゲームからボードゲームへの変更などにより予定から大幅に遅れてしまいましたが、12 月からはクラウドファンディングの準備もすすめ、今年度中のボードゲーム版の完成を目指しています。

連絡先

広報担当：池田泰基 E-mail: iked4658@gmail.com

2018年11月28日

酒田市北前横丁 酒処「KITAMAE」 12/1 にグランドオープン！

酒田市中心市街地のにぎわい創出に向けた新たな核として、2015年10月15日に中町2丁目にオープンした酒田柳小路屋台村「北前横丁」が11月4日（日）に第1期目が終了しました。店舗改修を経て新たに12月1日（日）から第2期目がスタートし、全国の北前船寄港地の地酒が味わえる、本学4年山崎侑斗くんの酒処「KITAMAE」が12/1からグランドオープンします。

【ポイント】

- 本学学生が在学中に中心市街地に飲食店をオープン
- 地方の大学生が中心市街地の活性化を図るために開業
- 地元市民の郷土愛の醸成を行う相互学習の場の提供

「北前横丁」第2期グランドオープニングセレモニー

- ◇ 日 時：12月1日（土）17:00～
- ◇ 場 所：酒田柳小路屋台村「北前横丁」
- ◇ 鏡開き&酒のふるまい、サクスの演奏が行われます

酒処 「KITAMAE」

- ◆ 営業時間：17:30～24:00
- ◆ 定休日：火曜日、年末年始
- ◆ 食べ物：いぶりがっこのカナッペ（クリームチーズ、マヨネーズ）、ウインナーの粕床焼き、厚焼き玉子、エイひれ、イカの塩辛、塩だれキャベツ、イカの天ぷら、庄内麩のピザ風ピザ？、枝豆
- ◆ 飲み物：ビール、酎ハイ、サワー、焼酎、ノンアルコールビール、ソフトドリンク
- ◆ 日本酒：青森、秋田、山形、新潟の北前船寄港地のお酒約15種類

お問い合わせ
東北プライド代表 山崎 侑斗
TEL：090-7328-5583
E-mail：tohoku.pride@gmail.com

阿部ゼミ紹介

3年 前司美南

【テーマ】

「厚生行政における政策広報としての年金教育と情報発信」

阿部ゼミでは、若年層の保険料未納を社会的問題として捉え、年金広報の視点から改善していくことをテーマに、広報媒体(年金教育の映像教材等)を作成し、公益大からの提言や情報発信を試みています。テーマにある“年金教育”とは、年金の本質を伝えるためのものであり、政策の一つであるといえます。時間がかかることは予想されますが、私たちが情報発信を行うことで、間接的な効果が社会の中で表れてくるのではないかと考えています。

【取り組んできた活動】

- ・国民年金加入行動啓発プロジェクト
- ・年金ディベート道場

国民年金加入行動啓発プロジェクトとは、2016年から2018年まで学内のプロジェクト型応用演習という科目で行ってきた取り組みです。このプロジェクトでは、学生に国民年金の加入を自分事として捉えてもらえるような動画を作成し、公益大から情報発信することを目的としています。

年金ディベート道場とは、「国民年金の保険料なんて払ったら損だ!」という題目でディベートを行い、周りの人に説得する話し方や方法を学んで情報発信につなげていくという取り組みです。主に、ゼミや1年生の基礎演習という科目で行ってきました。

また、ゼミ生が主体となってプロジェクト型応用演習や基礎演習のサポートを行ってきました。このように学生が動くことが、年金を若い世代へと広げていくための戦略の一つにもなっています。

以上のようなことを私たちはこれらを年金広報として捉え、阿部ゼミは今後も活動していきます。



《地域経営系》

《政策コース》



共同研究室 H5

メールアドレス

koichi@koeki-u.ac.jp

阿部公一ゼミ



【共通テーマ】

～大学生の視点から年金広報について考える～

若年層の保険料未納問題を地域共通の社会的課題として捉え、大学生の視点から、解決のきっかけになる広報媒体（年金教育の映像教材や冊子等）を作成し、公益大からの提言や情報発信を試みます。

- 若い力で保険料未納問題を解決しよう！
- 啓発的な動画等をオリジナルで作成しよう！
- チームで取り組んで理解を深めよう！



【16期生】

- 伊藤綺羅
- 佐藤友利菜
- 横山力矢
- 本間葵
- 柳橋里奈
- 山崎怜
- 前司美南
- 亀谷千香子
- 長里歩可

2018年11月20日
東北公益文科大学

競争型課題解決演習(新規開業ホテルの事業開発コンペ) 中間発表会を開催します

本学・経営コース 倉持一准教授担当の「競争型課題解決演習(新規開業ホテルの事業開発コンペ)」では、酒田駅前再開発で整備されるホテルの宿泊プラン等について、学生が2チームに分かれ検討を進めています。

このたび、現時点での企画内容について報告する中間発表会を行うこととなりました。

★ ポイント

- ・ 9名の履修者が2チームに分かれ、企画提案をプレゼンテーションします。
- ・ 現時点での提案内容について、クライアントである、白旗・(株)月見社長、酒田市担当者、(株)光の湊担当者からコメントをいただきます。

記

- 日 時 : 2018年 **11月29日(木)13:10~14:55**
- 場 所 : 東北公益文科大学酒田キャンパス 教育研究棟 202 教室
- 内 容 : 1. 学生2チームによるプレゼンテーション
2. 質疑応答
3. 参加者からの講評および要望事項など

お問い合わせ
教務学生課
電話) 0234-41-1116

IT誕生50周年の記念日をみんなで祝いましょう！
 「IT Day」創設キックオフ・イベント
 2018.12.10 (月) 日本全国同時開催
 インターネット商用化25周年・The DEMO 50周年記念シンポジウム

25・50

～ 本当の世界を変えたいと思っている君たちへ～



世界を変えたこの3つの歴史的偉業をあなたは知っていますか？ 答えは**こちら**



ホロス 2050

2018年はインターネット商用化25年および「The Demo」が実施されてから50年を迎えます。これを記念し「パーソナルコンピュータの父」アラン・ケイの講演、パネルディスカッションが開催され、本学コワーキングスペースも中継会場となります。インターネットに関心のある方は、ぜひお越しください。

日時:2018年12月10日(月)

第一部:18:30～19:50、第二部:20:00～20:50

場所:東北公益文科大学 コワーキングスペースUNDERBAR

講師:広瀬雄二准教授、三浦彰人助教

概要:第一部(18:30～19:50)では「パーソナルコンピュータの父」アラン・ケイの基調講演とパネルディスカッションをロンドンからライブ中継。第二部(20:00～20:50)では、中継内容を受けて参加者同士が議論するアットホームなシンポジウムを開催。

入場料:無料

定員:20名

主催:東北公益文科大学

お問い合わせ・申込み:

〒998-0055 山形県酒田市飯森山3-5-1

東北公益文科大学 コワーキングスペースUNDERBAR

Tel:0234-43-6901 / E-mail:coworking.sakata@gmail.com



<申込み方法>

電話またはメールでお申込みください。

【電話番号】0234-43-6901

【E-mail】coworking.sakata@gmail.com

※件名を「12月10日IT25・50 参加申込」とご記入ください。

本文には「氏名・所属(学生または一般)・メールアドレス・電話番号・住所」を記入し送信してください。大学よりメール返信がありましたら申込み受付完了となります。

<当日のタイムスケジュール>

18:00	～	18:30	受付開始 (30分)
18:30	～	18:45	第一部：MC：開会宣言・事務局：開会趣旨説明 (15分) (中継)
18:45	～	19:25	第一部：アラン・ケイ基調講演 (40分) (中継)
19:25	～	19:50	第一部：アラン・ケイを交えたディスカッション (25分) (中継)
19:50	～	20:00	休憩 (10分)
20:00	～	20:50	第二部：地域ごとのシンポジウム (50分)

<会場案内>



※お申し込みいただいた個人情報は、申し込み受付の確認や緊急連絡の際にのみ使用いたします。

2018年11月28日
東北公益文科大学

公益教養プログラム FORUM21:
スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程設置記念講演会
「スクールソーシャルワーク — 子どもの真のパートナーとして—」

東北公益文科大学大学院および地域共創センターでは、公益教養プログラム FORUM21「スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程設置記念講演会」を、山形県および庄内5市町の教育委員会のご後援をいただいて開催することになりました。

本記念講演会では、日本のスクールソーシャルワーカーの草分けとして活躍されている山下英三郎氏を招聘し、スクールソーシャルワーカーのスーパーバイザーもされている牧野晶哲氏との対談形式での講演を行います。

★ ポイント

- **スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程**を設置しているのは、
大学院では本学が全国で唯一です。
- **土曜日午前中での開催**で、お仕事をお持ちの方でも参加しやすい日時です。
- **参加費**はいずれも**無料**です。

記

- 日 時：2018年 **12月8日(土) 10:00～12:00**
- 会場：**東北公益文科大学酒田キャンパス 教育研究棟 1階
103 教室
(住所：山形県酒田市飯森山 3-5-1)**
- 講師：山下英三郎氏、牧野晶哲氏 ※詳細は別添チラシに記載
- 参加費：無料
- 申込締切：2018年12月6日(木)

お問い合わせ・お申し込み
大学院事務室(鶴岡キャンパス)
電話) 0235-29-0555

公益教養プログラムFORUM21

東北公益文科大学大学院

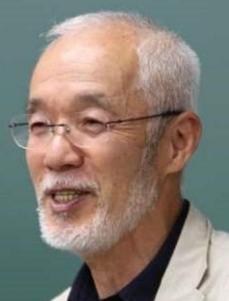
スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程開設記念講演会

スクールソーシャルワーク —子どもの真のパートナーとして—

本講演は大学院授業：地域共創研究9（スクール（学校）ソーシャルワーク論a）の一部を公開するものです。
庄内開発協議会：平成30年度公益のふるさとづくり活動補助事業として実施いたします。

日本では、いじめ、不登校、子供の貧困をはじめとする子供を取り巻く多様な問題が発生する中で、スクールソーシャルワーカーが教育現場に入り、関係機関等とのチームで子どもの置かれている状況を改善し、問題解決に取り組むことが期待されています。

本記念講演会では、日本におけるスクールソーシャルワーカーの草分けとして活躍されてこられた山下英三郎先生と、スクールソーシャルワーカーのスーパーバイザーもされている牧野晶哲先生に対談形式でご講演いただき、スクールソーシャルワークへの共通理解をはかり、山形県のこれからのスクールソーシャルワークのあり方を共に考える場といたします。



山下 英三郎 氏 日本社会事業大学名誉教授

特定非営利活動法人日本スクールソーシャルワーク協会
名誉会長

1969年 早稲田大学法学部卒業。1985年 ユタ大学ソーシャルワーク学部修士課程を修了。
1986年 埼玉県所沢市において、わが国初のスクールソーシャルワーカーとして活動を始める。
1987年より2010年まで、所沢市でフリースペースの運営に携わる。
1997年より2016年まで、日本社会事業大学教員。
1999年より2015年まで、モンゴルのソーシャルワーク教育と児童支援活動に従事。
現在、日本社会事業大学名誉教授、特定非営利活動法人日本スクールソーシャルワーク協会名誉会長、
特定非営利活動法人修復的対話フォーラム代表、特定非営利活動法人コスモス村代表。
主な著書：『子どもにえられるためのスクールソーシャルワーク』（監・著）学苑社、2016年
『修復的アプローチとソーシャルワーク』明石書店、2012年
『いじめ・損なわれた関係を築きなおす』学苑社、2010年
『相談援助』学苑社、2006年 その他多数



牧野 晶哲 氏 白梅学園大学 子ども学部 家族・地域支援学科 講師 東北公益文科大学大学院 非常勤講師

1998年 東北福祉大学社会福祉学部卒業。2000年 同大学院社会福祉学研究科修士課程を修了。
2010年より白梅学園大学子ども学部家族・地域支援学科教員。
現在、特定非営利活動法人日本スクールソーシャルワーク協会副会長、東京都杉並区教育委員会、
文京区教育委員会および大田区教育委員会のスクールソーシャルワーカースーパーバイザー、
杉並区いじめ問題対策委員、府中市子ども・子育て審議会 放課後対策部会部会長等を務め、
子どもの居場所づくりに取り組んでいる。

日時 2018年12月8日（土）10:00～12:00 入場 無料

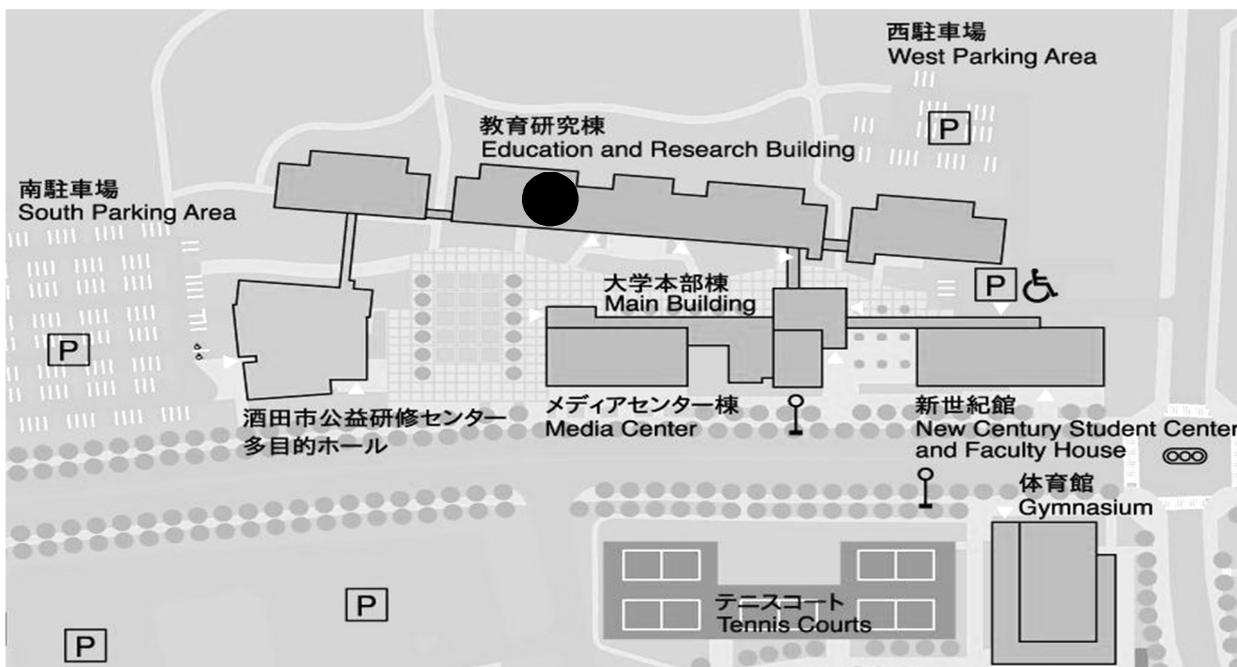
会場 東北公益文科大学 酒田キャンパス教育研究棟1階 103教室
（住所 山形県酒田市飯森山三丁目5番地の1）

◀ 酒田キャンパス周辺駐車場案内図 ▶

お車でお越しの場合、基本的には「南駐車場」または「臨時駐車場（北駐車場）」をご利用ください。満車の場合、「国体記念体育館駐車場」をご利用ください。



◀ 酒田キャンパス案内図 ▶ ●印のついている建物1階に会場「103教室」がございます。



お申し込み方法	電話・FAX・Eメールのいずれかにより、お申し込みください。
お申し込み情報	①お名前（フリガナ） ②ご住所 ③お電話番号 ④メールアドレス ⑤ご所属先名称（企業名等）
お申し込み締切	2018年12月6日(木) ※人数により申し込みを締め切らせていただく場合がございます。
お申し込み・お問い合わせ先	東北公益文科大学 大学院事務室（鶴岡キャンパス） Tel: 0235-29-0555 Fax: 0235-29-0556 E-mail: gs@koeki-u.ac.jp ※電話の受付は、午前9時00分～午後5時00分（日曜・祝日を除く）

2018年11月28日
東北公益文科大学

「知の拠点庄内」第8回シンポジウム

「歴史と自然に溢れる庄内 ～これからのまちづくりを語る～」

庄内地域には、4つの高等教育・研究機関が集積しています。これらの機関が知を集結し、「知の拠点庄内」を立ち上げました。

このたび、第8回シンポジウムとして、「歴史と自然に溢れる庄内」をテーマに、山形デザイン株式会社の山中大介氏、坂茂建築設計の渡部玲士氏による基調講演と、各機関の講師からそれぞれまちづくりに関する報告をいたします。

★ ポイント

- 各高等教育・研究機関に所属している研究者が、自らの研究に基づき「まちづくり」について発表いたします。
- 参加費無料、日曜日の午後開催です。

記

○日 時：2018年 **12月9日(日)**

13:30～15:50 (開場 12:30～)

○会 場：**鶴岡市先端研究産業支援センター**（鶴岡メタボロームキャンパス）
レクチャーホール
(山形県鶴岡市覚岸寺水上 246-2)

○講 師：下記高等教育・研究機関から1名ずつ
山形大学農学部、慶應義塾大学先端生命科学研究所、
鶴岡工業高等専門学校、東北公益文科大学

○参加費：無料

○定員：150名程度

○申込締切：2018年12月5日(水) ※定員に達し次第締切とします。

お問い合わせ

大学院事務室（鶴岡キャンパス）

電話）0235-29-0555

第8回「知の拠点庄内」シンポジウム

歴史と自然に溢れる



～これからのまちづくりを語る～

庄内地域には、地方としては全国的にも珍しく、4つの高等教育・研究機関が集積しています。これらの機関が知を集結し、「知の拠点庄内」を立ち上げました。このシンポジウムでは、地方創生といった視点から、4つの高等教育・研究機関が庄内の未来へ向けた地域創りについて講演します。

日時●平成**30**年**12**月**9**日(日) 13:30～15:50 (開場12:30～)

場所●鶴岡市先端研究産業支援センター(鶴岡メタボロームキャンパス)
レクチャーホール(鶴岡市覚岸寺字水上246-2)

主 催：「知の拠点庄内」ワークショップ委員会

共 催：鶴岡市・酒田市

慶應義塾大学先端生命科学研究所・東北公益文科大学・山形大学農学部・鶴岡工業高等専門学校(事務局)



開 会

13:30-13:35

基調講演

(司会・進行 鶴岡工業高等専門学校)

「サイエンスパークから始まった街づくりの新潮流」

山中 大介氏 (ヤマガタデザイン株式会社 代表取締役)

渡部 玲士氏 (坂茂建築設計)

13:35-14:05

発表

「歴史的建築を活用した地域まちづくり」

高谷 時彦氏 (東北公益文科大学 特任教授)

14:05-14:20

「農業を生かしたまちづくり」

藤科 智海氏 (山形大学農学部 食農環境マネジメント学コース 准教授)

14:20-14:35

「庄内の魅力的な歴史的風致と観光 ～継承し、発信し、ともにいきる～」

山田 充昭氏 (鶴岡工業高等専門学校 基盤教育グループ 准教授)

14:35-14:50

(休憩 10分)

パネル

ディスカッション

パネリスト・講演者 5名

コーディネーター／森永 隆志氏 (鶴岡工業高等専門学校 化学・生物コース 教授)

15:00-15:45

閉 会

15:45-15:50

● **入場無料** (入場は無料ですが、事前申し込みが必要です)

● **定員150名程度** (定員になり次第、締切とさせていただきます)

● 申込先

- ・ 鶴岡工業高等専門学校総務課 企画・連携係
[E-mail] kikaku@tsuruoka-nct.ac.jp
[Fax] 0235-24-1840
- ・ 鶴岡市役所 政策企画課
[Tel] 0235-25-2111 内線 524

● 締切

12月5日(水)

※ファックスでお申し込みの方は、下記に必要事項をご記入の上、
FAX 0235-24-1840 へ送信してください。

※E-mailでお申し込みの方は、下記情報を記載の上、
kikaku@tsuruoka-nct.ac.jp へてに送信してください。



12/9 第8回「知の拠点庄内」シンポジウム 参加申込書 (FAX0235-24-1840)

● お名前(フリガナ)

● E-mailアドレス

@

● お電話番号

● FAX番号

● 参加人数(複数人でご参加の場合、ご記入ください)

人

ご記入いただいた個人情報は、シンポジウムご参加に関する手続きのみに利用し、第三者には開示・提供・預託することはありません。





東北公益文科大学

Tohoku University of Community Service and Science

公益教養プログラム

FORUM 21

本講座は課外の教養講座として実施しているもので、学内外の講師による幅広いテーマのプログラムです。どなたでもご参加いただけます。

「日本の伝統芸能の一つ 能楽を知ろう！」



○日 時： 12月5日(水) 18:00 ~ 19:30

○場 所：東北公益文科大学 酒田キャンパス 公益ギャラリー
(山形県酒田市飯森山3-5-1)

○講 師：寺内顕治さん (NPO 法人如水宝生会 副理事長)

○内 容： 今、なぜ日本の伝統文化を知るべきなのでしょう？

- ・国際交流が深まるなか、海外では、日本の伝統文化に対する関心が益々高まっています。われわれ自身が自国の伝統文化について何も知らないで良いのでしょうか？
- ・社会人になると、仕事が第一と考える。しかし、他に自分の好きなものが必ずあるはず。それに気付かないと、人生の半分しか生きていないのではありませんか？
- ・六百年以上続く能楽は、日本芸能諸文化のルーツです。その歴史を振り返って見ましょう。
- ・観阿弥は楠正成の甥か？ 加賀宝生はいつから始まったか？などのトピックも含めて。

○入場料：無料

○主催：NPO 法人如水宝生会 / 東北公益文科大学 地域共創センター

お問い合わせ・申込み

〒998-8580 山形県酒田市飯森山3-5-1 東北公益文科大学 地域共創センター

Tel: 0234-41-1115 Fax: 0234-31-2082 E-mail: kyoso@koeki-u.ac.jp

※公益のふるさとづくり活動補助金(庄内開発協議会)の支援を受けて行なっております。

12月5日開催 FORUM21 申込フォーム

FAX またはメールでお申込み下さい。

*12月4日(火)締切り

• FAX

【FAX】 0234-31-2082

(FAXの場合はそのまま送信してください)

東北公益文科大学地域共創センター事務室 行き

(氏名)	(所属)
(メールアドレス)	(電話番号)
(住所)	

• E-mail

【E-mail】 kyoso@koeki-u.ac.jp

件名を「12月5日 FORUM21 参加申込」とご記入ください。

本文には「氏名・所属・メールアドレス・電話番号・住所」を記入し送信してください。

大学よりメール返信がありましたら申し込み受付完了となります。

<会場案内>



※お申込みいただいた個人情報は、申し込み受付の確認や緊急連絡の際にのみ使用いたします。

公益教養プログラム FORUM21

本講座は課外の教養講座として実施しているもので、学内外の講師による幅広いテーマのプログラムです。どなたでもご参加いただけます。

2018年 **12月17日** (月) **入場無料**

15:05 ~ 16:50

会場：東北公益文科大学 酒田キャンパス 中研修室 1
(山形県酒田市飯森山3-5-1)

グリーンケアを学ぶ～悲嘆からの再生に向けて～

講師：西條和佳子さん（一般社団法人日本グリーンケア協会認定
グリーンケア・特級アドバイザー）

共生社会の実現が求められる現代において、大切な人を亡くした際の「悲嘆からの再生支援」は重要な課題です。この機会にグリーンケアを学び、今後の自身の人生や周囲への支援、あるいは、精神保健や福祉活動等に役立てるためにご参加ください。

■お問い合わせ・申込み

E-mail : kyoso@koeki-u.ac.jp

件名を「12月17日 FORUM21 参加申込」とご記入ください。

本文には「氏名・所属・メールアドレス・電話番号・住所」を記入し送信してください。

大学よりメール返信がありましたら申し込み受付完了となります。

Fax : 0234-31-2082 FAXの場合はそのまま送信してください。

東北公益文科大学地域共創センター事務室 行き

お名前	ご所属
メールアドレス	電話番号
住所 〒	

主催：東北公益文科大学 地域共創センター

〒998-8580 山形県酒田市飯森山3-5-1 Tel : 0234-41-1115

※公益のふるさとづくり活動補助金（庄内開発協議会）の支援を受けて行なっております。

本講座は課外の教養講座として実施しているもので、学内外の講師による幅広いテーマのプログラムです。どなたでもご参加いただけます。

—死から生を見つめて—

認知症医療・終末期医療に詳しい「瀬尾メンタルクリニック院長 瀬尾東伸医師」による講演は今回で2回目です。前回、平成28年に生と死の問題について講演をいただいた際は、学生だけでなく多くの市民の方から参加をいただきました。

今回は、生きることとは何かを死を考えることから見つめ直します。死生観を共有することによって、自分の中でどのような変化が起きるのか、受講者の皆様からも活発な意見をいただきながら考えを深めます。死は100%の確率で誰にでも等しく訪れます。死を間際にしてから死を考えるのではなく、生を謳歌できる今だからこそ、死について考え、生をより強いものとしていきましょう。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

○日 時：平成30年12月19日（水） 18:00～19:30

○会 場：東北公益文科大学酒田キャンパス 中研修室2

○講 師：瀬尾 東伸氏(瀬尾メンタルクリニック院長)

～略歴～

昭和57年 酒田市出生

埼玉医科大学卒業後、産業医取得

秋田県の一般病院で臨床研修し 平成25年から秋田大学精神科にて2年間の研鑽を積んだのち

平成27年酒田市で瀬尾メンタルクリニック開業

平成30年4月より本学学校医



○対 象：どなたでも

○申込み：不要

○参加費：無料

主催・お問い合わせ（東北公益文科大学 地域共創センター）

998-8580 山形県酒田市飯森山3-5-1 *会場住所も同じ

Tel：0234-41-1115 Fax：0234-31-2082 E-mail：kyoso@koeki-u.ac.jp

※公益のふるさとづくり活動補助金（庄内開発協議会）の支援を受けて行なっております。

共創カフェ

2018

12月12日(水)

17:00~18:30

場所:東北公益文科大学

本部棟1階 地域共創センター

学生生活動報告シリーズ第4弾

海外ボランティア 活動報告



インド(マザーテレサハウス)
佐藤 茉弥(公益大2年)

フィリピン・セブ島(地域開発)

阿部 文音(公益大2年)

紺野 公美子(公益大2年)



マルタ島(猫の保護活動)

池田 知美(公益大2年)

辻 明日香(公益大2年)

2018 年 11 月 28 日
東北公益文科大学

『文学でめぐる元号展』のご案内

2019 年 5 月に新元号に変わるにより、元号に対する関心が高まる中、東北公益文科大学図書館では、「大化」からはじまり現代も続く元号の歴史を、文学史や本館の蔵書とともに展示、紹介いたします。

★ ポイント

- ・ 東北公益文科大学図書館は、11 万冊を超える蔵書を所蔵しています。
- ・ 一般に開放された図書館です。
- ・ 展示される資料は、ガラスケース内の展示書籍を除き、貸出可能です。

記

○ 日 時：2019 年 **1** 月 **4** 日（金）～ 図書館開館時間内

※ 図書館開館時間は図書館ホームページでご確認ください。

○ 会 場：東北公益文科大学酒田キャンパス

図書館 1 階エントランス前

○ 入 館：入館の際は、入館票への記入。

もしくは利用者カードの作成（実費 300 円）が必要です。

お問い合わせ

東北公益文科大学図書館

電話) 0 2 3 4 - 4 1 - 1 1 7 7

H P) <http://lib-uf.koeki-u.ac.jp/>



「文学でめぐる元号展」

場所：東北公益文科大学図書館

日時：2019年1月4日～ 図書館開館時間内

2018年11月28日
東北公益文科大学

「屋内練習場オープニングセレモニー」 の開催について

さて、この度、建設を進めておりました「屋内練習場と運動部寮」が竣工を迎えることとなり、下記のとおり屋内練習場内において「屋内練習場オープニングセレモニー」を開催することといたしました。

【オープンセレモニーの概要】

施主挨拶（新田理事長）、施工者代表挨拶、謝辞（硬式野球部関係）、
オープニングバッティング（新田理事長）、公開練習（硬式野球部）

記

- 日 時：2018年 **12月3日(月) 15:00～15:30**
- 会 場：**東北公益文科大学 屋内練習場**
 - ※ 既存の体育館とテニスコートの間の建物です
 - ※ 最寄の駐車場はグラウンド駐車場となります

【お問合せ】

東北公益文科大学事務局総務課
電話) 0234-41-1111
担当) 土門、小松

2018年11月28日

東北公益文科大学

東北公益文科大学公益学部と 琉球大学国際地域創造学部との 「包括連携協定」締結式の開催について

さて、この度、本学公益学部は「国立大学法人琉球大学（沖縄県）」の国際地域創造学部と、「包括的連携に関する協定」を締結することとなり、本学キャンパスに、琉球大学の教職員をお迎えし、下記のとおり締結式を開催することといたしました。

【締結式出席者】

○ 琉球大学 側

石原 国際地域創造学部長、瀬口教授、金城事務長、高山総務係長

○ 東北公益文科大学 側

（法人）新田理事長、金野理事長補佐、酒井専務理事

（大学）吉村学長、神田学部長 ほか

記

○ 日 時：2018年 **12月7日(金) 14:00～14:30**

○ 会 場：**東北公益文科大学酒田キャンパス**

31会議室（本部棟3階）

以 上

※ 当該連携協定につきましては、締結式終了後に報道していただきますよう、
よろしく願いいたします。

【お問合せ】

東北公益文科大学事務局

電話) 0234-41-1111

担当) 土門